

福井大学学術交流協定校への派遣留学(交換留学) 月例報告書(1月分)

留学先：文藻外語大学

名前：西郡優季

こんにちは！1学期間の留学を終え、これが最後の月例報告書となります。日本に帰国してから今月の月例報告書を作成していますが、すでに懐かしく感じとても充実していた留学生活だったなと感じています。

<中国語>

文藻外語大学に留学して、とても伸びたと思うのが中国語です。もともと大学2年次に1年間第二外国語で中国語を選択し勉強していましたが、文法やライティング中心で、全くと言っていいほど中国語を話すことはできませんでした。もし中国語が分からなくても、台湾では英語が通じるだろうと思って留学したのですが、実際のところほとんど英語は通じなかったのが、台湾に留学した当初はとても生活するのが難しく、家を出て中国語で話しかけられるのが怖かったです。しかし、毎日の中国語の授業のおかげで、私は自分の中国語力が成長していると少しずつ実感するようになりました。



最初は喋りかけられても「はいいいえ」「わかりません」としか答えられなかったのですが、外でご飯を食べていた時に店員さんとちょっとした会話をしたり、バスの待ち時間に、同じくバスを待っている人と会話ができるようになりました。これから先も中国語の勉強は続けていきたいと思っています。

<学校でのイベント>

文藻外語大学では SOSA(Section of Overseas Student Affairs)によるイベントがたくさん開催されていました。この写真は台湾の食文化を体験するものです。春巻きと愛玉という食べ物を作りました。私は外国の文化にとっても興味があるので、このようなイベントが開催されるのはとても興味深かったです。また、留学生向けのイベントだったため、他の留学生と仲良くなれる機会でした。





これはお別れパーティーでの写真です。みんなの留學生活の思い出を聞いて、でゲームをして、一緒にご飯を食べました。SOSAの人による出し物もありました。とても楽しいイベントばかりで、SOSAのイベントに参加して本当によかったと思います。

<友達とお出かけ>



これは友達と夜市でご飯を食べているところです。最後の最後に臭豆腐も何とか食べることができました（笑）最後ということで、1月中は今まで以上にたくさんの所に出かけました。

台湾で出会った友達とはこれからも連絡を取り合っていきたいと思います。

<最後に>

最初は、1学期間はとても長いと思っていましたが、毎日が刺激的であつという間に終わってしまいました。台湾留学をして、もともと好きだった台湾がもっと好きになりました。留学先にして本当によかったと思います。この月例報告書が少しでも留学を考えている皆さんの役にたてると幸いです。ここまで月例報告書を読んでいただきありがとうございました。

